

北関東教区との 宣教協働・教区再編（新教区設立） に関する説明懇談会



2022.9.23
聖アンデレ主教座聖堂



開会祈祷&挨拶：高橋宏幸主教

北関東教区管理主教
東京教区主教



本説明・懇談会開催の趣旨と流れについて

中川英樹司祭

北関東・東京教区宣教協働特別委員会副委員長



宣教協働・教区新設に関して

コロナ禍で教会内外での対話の機会が少ない現状において
十分な情報の共有と説明が決定的に不足している。

文書（Q&A、絵本など）による伝達の限界。

一方で、憶測や不正確な情報が流布し、不安と懸念が先行。

→対面での正確な情報提供と対話の必要性



本日の流れ

- ①これまでの「経緯」の整理
- ②何のためにやるのか（Q&A）
- ③北関東教区のこと
- ④今の動きについて
- ⑤懇談

全体で約2時間を予定しています。



①これまでの「経緯（はじまり）」の整理

報告：中川英樹司祭

北関東・東京教区宣教協働特別委員会副委員長



2019年6月 日本聖公会第65（定期）総会における法規の改正

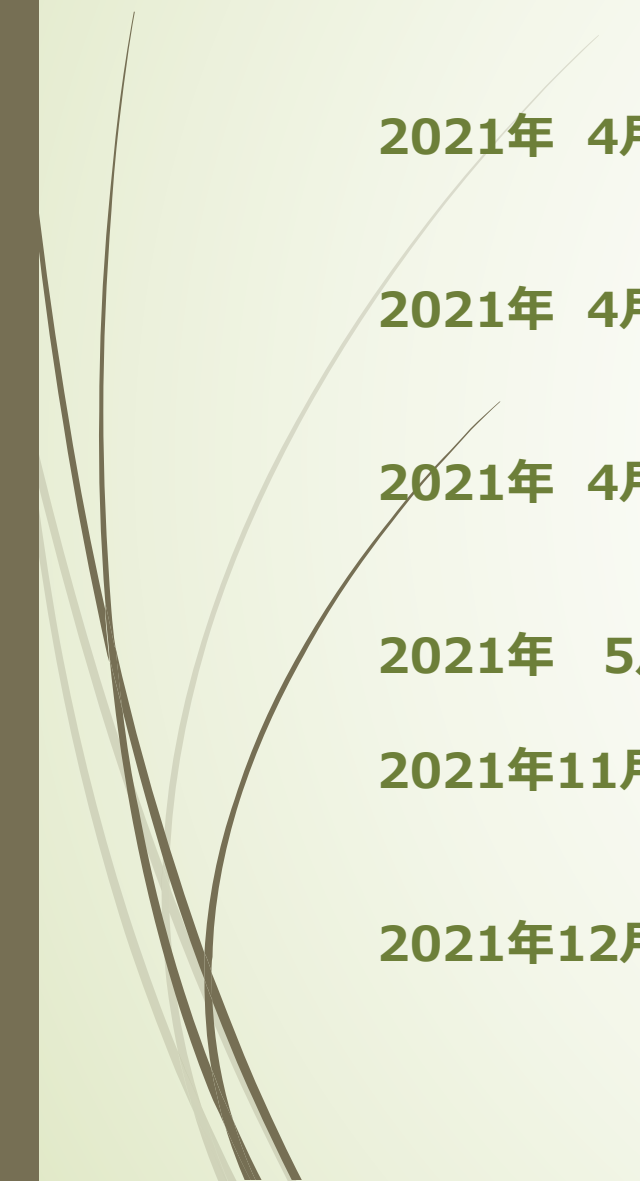
決議第11号

宣教協働区と協働委員会の設置 伝道教区の設置

なぜ、法規を改正してまで、日本聖公会全体の再編が必要なのか？

議案提出者の主教会からの「提案理由」及び改正法規 ※別紙参照

- 
- 
- 2020年11月 北関東教区、「伝道教区」へ移行することを教区会で決議
- 2021年 2月 第1回東日本宣教協働区協働委員会開催
東日本宣教協働区を、
北海道&東北、北関東&東京の2分科会に分け、協議を具体的に進めることに
北関東&東京分科会発足
- 2021年 2月 北関東教区より、伝道教区移行が総会で承認された場合、
東京教区との「合併」を視野に、高橋主教の霊的指導の下に
協働を推進していきたい、との打診がある
- 2021年 3月 日本聖公会第66（臨時）総会
北関東教区の「伝道教区」への移行を承認
- 2021年 3月 北関東教区と東京教区の合同常置委員会
「合併」ではなく、「新教区設立」を目指して協働していくことを確認
共同文書作成、両教区内に通知

- 
- 
- 2021年 4月 高橋宏幸東京教区主教に
北関東教区の管理主教が委嘱される
- 2021年 4月 東日本宣教協働区協働委員会で、宣教協働&教区新設推進が承認され、
今後の具体化については、北関東・東京分科会で協議・検討するように付託
- 2021年 4月 東日本宣教協働区協働委員会内の北関東・東京教区分科会とは別な形の
北関東・東京教区分科会（後の北関東・東京教区宣教協働特別委員会の前身）が発足
- 2021年 5月 北関東・東京教区合同教役者会開催（zoom）
- 2021年11月 両教区会にて
北関東・東京教区宣教協働特別委員会 設置可決
- 2021年12月 北関東・東京教区合同教役者会開催（対面@志木聖母教会）



北関東教区と東京教区は
何のために、宣教協働し、
教区再編（教区新設）を目指すのか？

※Q&A参照



Q 4 なぜ、新教区の設立を目指すのですか？

**Q 5 教区が独自に歩んできた中で、
本当に教区を新設していけるのでしょうか？**

**Q 6 新教区の設立は、
日本聖公会の長期にわたる展望を
見出せるのでしょうか？**



北関東教区のこと

「伝道教区」を選ぶまで。
そして、これからに期待するもの

報告：矢萩栄司司祭

北関東・東京教区宣教協働特別委員会副委員長
北関東教区主教補佐、常置委員長



大きな目標は二つ

宣教協働と教区再編（教区新設）

そのために何をするのか／何ができるのか

まずは、宣教協働／広報／財政／組織の4つの小委員会の設置
しかも、2021年4月-2026年3月までの5年間で

北関東教区・東京教区 宣教協働特別委員会と財政小委員会の位置づけ





宣教協働小委員会

報告：太田信三司祭

宣教協働小委員会 (出合い・交流促進チーム)

■メンバー

北関東教区：

谷川誠さん、越智容子執事、鈴木伸明司祭、福田弘二司祭

東京教区：

田中まきさん、藤田誠聖職候補生、中村真希執事、太田信三司祭

【目的・役割】

教区新設のベースとなる、

「出合い」

を両教区の信徒・現場同士が経験するために
必要なことを企画立案・実践する

➤ イエス様の旅、神の世界に生かされている

【Q & A Q5より】

今、東日本宣教協働区内での協議が始まり、特に北関東・東京教区では組織的なことのみではなく、お互いの「これまで」が交わって豊かな「これから」が築き上げられていく、出合いが豊かさを生むという教会の楽しさが始まろうとしています。今後、戸惑いや痛み、苦悩や苦労が伴う場面があるでしょう。でもその時を経て生まれる教会の楽しさを、実りが10倍にも100倍にもなることを祈り求める道を、一緒に歩いていきましょう！

【早速実現したいこと】

➡ 北関東・東京の合同の礼拝を実現したい

担当：鈴木伸明司祭、越智容子執事、田中まき、藤田誠聖職候補生

➡ 巡礼

担当：越智容子執事、中村真希執事、谷川誠

➡ 青少年の交流

担当：太田信三司祭、藤田誠聖職候補生

➡ 各教会、グループの交流（姉妹教会/姉妹グループ/司式・説教交換/ヴァーチャル）

担当：福田弘二司祭、谷川誠、田中まき、中村真希執事、藤田誠聖職候補生

➡ 趣味で繋がる（鉄道、地図、散歩、隠れキリシタン、聖書を読む等など）

担当：太田信三司祭



コロナ禍の厚い壁がありながらも、 宣教協働小委員会は動き続けて...

巡礼チーム、青少年の「大根掘り」、青年たちの交わりなど、具体的な動きが起こり始めている。

そして、各グループでの話し合いを始めてくださっているところも。

巡礼チームブログ

<https://junreiteam777.blog.fc2.com>

Q 7 新教区の設立は、私たちの教会生活にどのような影響がありますか

A 7 礼拝面では、何よりも、互いに祈り合う神の家族が増えるということが大きな喜びです。それは具体的には代祷によって表されます。さらには、教役者の交流や異なる伝統同士の出会いにより、より礼拝が豊かにされることが期待されます。

宣教・牧会面では、人材や財産、働きの共有により、より一層豊かな宣教・牧会体制作りが期待されます。たとえば、どこかの教会が「子ども食堂」を始めようとした時、これまで以上に物心両面での強い協力体制を作ることができます。

このように、それぞれの教区で大切にされてきた働きや新しい働きが分かち合われることにより、役割を担い合う仲間が増し加えられ、より一層与えられた務めを果たす力が与えられます。そして、このような出来事を通して、キリストの体の一部としての自分自身、教会のあり方をこれまで以上に感じることはできるのではないのでしょうか。そのことから礼拝は変えられ、わたしたちがクリスチャンとして生きるために大切な視点が与えられ、信仰の歩みが新たにされることを願います。【Q&Aより】



広報小委員会

報告：樽谷 雪



広報小委員会

メンバー

北関東教区

斎藤徹司祭 岸本望執事 西谷郁子

東京教区

須賀義和司祭 宮崎功 榎谷雪



☆ 宣教協働・教区再編の進捗状況や情報を、広くタイムリーに伝える。

さまざまな伝達手段を駆使・・・紙媒体・メール・SNS・HPなど

☆ 情報を発信するだけでなく、受け手と双方向のやり取りを大切に。

これまでに発行したもの

- ・「Q&A」
- ・リーフレット『わたしたちになるために』
- ・絵本『今こそ知りたい教区の成り立ちとこれから
— The Spirit of Missions —』

先人たちの思いと覚悟を再認識。

物語の続きは、わたしたち一人一人が主人公。

広報ニュースレター 『きょうどう通信』

読者の投稿（意見・質問・川柳 etc.）を広く募る参加型の瓦版



財政小委員会

報告：奥山 尚

財政小委員会

➡ メンバー

北関東教区

廣瀬清さん 山田文恵さん 養田博さん

東京教区

藤田新一郎さん 前澤弘之さん 奥山尚さん

【目的】

教区新設に伴う財政面のしくみづくり

北関東・東京両教区の財政諸制度の現状を踏まえ、統合の可能性、必要性を検討、検証しながら、しくみ最適化を図る

⇒プライオリティと時間軸を考慮しながら裏方として支える

【経過報告】（2022年2月～8月）

- ・ 財務基礎資料の整理、整備（給与規程、固定資産評価等）
- ・ 財務関連の両教区プロフィール比較
- ・ 決算書交換並びにQ&A等を通じた初期的財務査定（簡易DD）
- ・ To Do Listにもとづいた主要テーマ、課題の絞り込み

【課題】

○一番の課題は、両教区教役者俸給負担原資の考え方
法規185条2項 教会に勤務する教役者の給与は勤務する教会が負担する
北関東教区の三層構造（教会納付金・俸給援助資金・収益事業）
と東京教区の教区費分担金一層構造のしくみの壁。

- ・北関東教区の教役者俸給は、派遣された教会が負担することを原則としつつ、各教会の過去の実績を踏まえ、俸給補助金、幼稚園チャプレン給などを組み合わせて対応。小さな教会も財務の健全性確保と自立を求めつつ、教会を守り存続できるよう寄り添うエコシステムを確立。

新教区もその精神を尊重していく必要がある。

⇒新教区における制度統合を視野にその可能性・方法を継続検討

○当面の課題は新教区の中期的な財務見通しの明確化

⇒ポストコロナを視野に、教区、教会の在りよう、足元を固める

～北関東教区財政小委員会メンバーからみなさまへ～

伝道教区としての北関東教区と、東京教区が新教区という目標地点を共に目指す事は、一つの山の頂上を目指して別の登山口から登っていくことに譬えられますが、既に「教区再編」と「新教区を目指す」という「志」を同じくすることで、私たちは、「同じ」「一つの」「信仰共同体」であると言えるのではないかと思います。

財務の具体的な下からの着実な積み上げにより、新教区への歩みが一足ずつ刻まれることを願い、祈ります。互いに楽観せず困難な課題に真摯に立ち向かい知恵を出し合いつつ解決していけば良い教区が出来ると信じております。



語り合いのとき



総括

閉会祈祷&祝祷：高橋宏幸主教



各教会にてご報告をお願いいたします！

- 各教会・礼拝堂で出されたご質問、ご意見等は、本日お配りしている『きょうどう通信』に掲載されているgmailまでお寄せください。